



安中市水道事業創設70周年記念イベント

を紹介します



安中市水道事業マスコットキャラクター

名前は「**ちょすい丸**」に決まりました



記念事業の一環で誕生したマスコットキャラクターで、原市のスギ並木沿いにある並木副配水池をモチーフにしています。

市内3高校の生徒から名前を募集したところ、885件の応募があり、その中から「ちょすい丸」に決まりました。応募していただいた皆さん、ありがとうございました。



おいしい至福の一本

あんなか 霧積の水

伊藤博文や勝海舟など明治時代の偉人・文化人も訪れた避暑地、霧積の地を流れる霧積川の水を、ゆっくり時間をかけてろ過し、500ミリリットルのボトルに詰めました。

今後、PR用として市のイベントのほか、市内小中学校などに配布する予定です。「あんなか 霧積の水」や「ちょすい丸」を通じて、安中市の水道事業に関心をもっていただければと思います。



平成10年5月
(1998年)

北陸新幹線のトンネル湧水を利用した滝ノ入浄水場(西上秋間)が完成する。

平成11年12月
(1999年)

北陸新幹線のトンネル湧水を利用した一ノ瀬浄水場(松井田町上増田)が完成する。

平成18年3月
(2006年)

当時の安中市と松井田町の合併に伴い、碓氷上水道企業団を解散し、合併後の安中市が事業を引継ぐ(現在の上下水道部)。

令和6年
(2024年)

安中市水道事業が創設70周年を迎え、記念としてマスコットキャラクターやボトル水などを作成する。



上空からみた久保井戸浄水場